

2019年4月16日

<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2019年4月16日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

ギリアドと insitro、非アルコール性脂肪性肝炎の 新規治療法の創薬および開発を目的とした戦略的提携を発表

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）と insitro（本社：米カリフォルニア州サウスサンフランシスコ）は4月16日、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）患者を対象とした治療法の創薬および開発を目的とした戦略的提携を締結したことを発表しました。

3年間の提携という条件で、insitro 独自のプラットフォームを利用して NASH の疾患モデルを作成し、本疾患の臨床的な進行と改善に關与する標的の発見を目指します。insitro Human (ISH) プラットフォームは、機械学習、人類遺伝学、および機能ゲノム科学を応用し、特別な in vitro モデルを作成および最適化するとともに治療薬の創薬および開発を推進していくものとなります。ISH プラットフォームにより、疾患の進行に対する理解が得られ、標的候補が示されるとともに、治療介入によってもたらされる患者の反応を予測することができます。ギリアドはこの提携によって同定された標的を最大で5つまで推進でき、それらの標的に対する化学的研究と開発を担当することになります。

「ギリアドは、NASH 患者、とりわけ最も大きなアンメットニーズのある進行した肝線維症を有する NASH 患者を対象とした治療薬の研究開発に取り組んでいます。」と、ギリアドの研究開発部門ヘッド兼チーフ・サイエンティフィック・オフィサーのジョン・マクハチソン (John McHutchison, AO, M.D.) は述べています。「ギリアドでは、insitro との提携によって、この複合疾患に伴う科学的課題に立ち向かう機会が得られることに大きな期待を持っています。本疾患を有する患者に対する高い有効性を持つ治療選択肢の開発を加速するという目標に向かい、この提携を通じてディープラーニングを活用し、NASH という疾患の病態と臨床スペクトルの科学的基盤を探っていきます。」

「NASH は、線維症、肝硬変、および肝癌に至る可能性のある進行性肝疾患であり、米国においては近いうちに肝移植の主な原因となると予想されます。」と、insitro の最高経営責任者 (CEO) 兼設立者であるダフニー・コラー (Daphne Koller, Ph.D.)

は述べています。「insitro としても、NASH を対象とした新たな治療法を発見し、それを必要としている世界中の多くの患者を救う新たなツールを提供するために、肝疾患領域のリーダーであるギリアドとの協働には大きな期待を持っています。」

今回の合意に基づき、insitro には 1,500 万ドルの契約前渡金が支払われ、さらに事業マイルストーンを達成した場合には短期的に最高で 3,500 万ドルが追加されます。insitro には、ギリアドの 5 つの標的のそれぞれについて、前臨床段階、開発段階、承認申請段階、および販売段階におけるマイルストーンを達成した場合に最高で 2 億ドルを受け取ることができ、純売上高に対しては段階的に二桁前半までのライセンス料が支払われることとなります。insitro がオプトイン（同意）したプログラムにより、米国では共同開発および共同での情報提供の権利が、中国では利益配分が insitro に与えられることに加え、米国以外のその他売上に関しては、マイルストーン達成に基づく支払いおよびライセンス料の支払いが行われます。

NASH について

非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）は、肝臓内の脂肪の蓄積、炎症、および肝細胞の障害を特徴とした慢性の肝疾患です。炎症および肝細胞の障害により、肝臓内に癒痕組織や線維化が生じ、最終的には肝硬変や肝臓癌に至ることがあります。NASH は、肥満および 2 型糖尿病を含む、ある特定の合併症を有する者でよくみられます。NASH 患者を対象として現在承認されている治療薬の数は限られています。

insitro について

insitro では、創薬と患者への医薬品の提供方法に変革をもたらすべく、機械学習を利用してデータ駆動型の創薬と開発を行っています。患者データと一致したハイスループットの機能ゲノムデータセットを生成し、今までにない機械学習法によってこれらのデータを解釈することで、insitro では標的の選定と有効な治療法の設計を加速できる予測モデルを構築しています。さらに、生物工学による最先端技術に基づくハイスループットのバイオデータファクトリも構築しようとしています。これにより、最先端の機械学習法で医薬品開発における主な障害を抑制できる、大規模なデータセットが生成できるようになります。insitro は、投資ラウンドシリーズ A の段階で、a16z、Arch Venture Partners、Foresite Capital、GV（前身は Google Ventures）、および Third Rock Ventures から受けた 1 億ドル超の資金と、Alexandria Venture Investments、Bezos Expeditions、Mubadala Investment Company、Two Sigma Ventures、Verily、およびその他非公開の投資者からの追加投資により、2018 年に設立されました。本社はカリフォルニア州、サウスサンフランシスコにあります。insitro の詳細については、企業ウェブサイト、www.insitro.com をご覧ください。

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズ・インクは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 か国以上で事業を行っています。ギリアド・サイエンシズに関する詳細は、www.gilead.com をご覧ください。

ギリアドの将来予想に関する記述

本プレスリリースは、1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスクや不確定要素などの要因を含む場合があります。これには、両社がこの提携から潜在的利益を得られず、この提携で挙げられた製品候補を開発できないリスク、および／または市販化できないリスクなどがあります。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなしてください。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述のみに依拠することはお控えください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2018年12月31日までのギリアド社年次報告書（フォーム 10-K）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###